

教員氏名	木村 政伸 (きむら まさのぶ)
学位	博士 (教育学)
専攻 (専門分野)	学校教育史、学校教育論、日本教育史、人権教育
担当科目	教育原理、教職概論、教育課程論、教育方法論、教育実習 I、養護実習、 教職実践演習 (中高)、教職実践演習 (養護教諭)、教職実践演習 (栄養教諭)
研究テーマ	読み書き学習の歴史 子育ての社会史
所属学会・団体等	九州教育学会、教育史学会、日本教育学会、全国地方教育史学会、日本教育史学会
<p>最近の業績 (研究業績) *過去 3 年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新潟・三校ボートレース事件からみえる明治後期中等学校が抱える病理とその構造」『日本教育史研究』40 日本教育史研究会 2021 明治後期に新潟で発生した学校紛擾事件を素材に、当時の中等学校の生徒と教員の実態に迫った。 ・『「子はうき世のほだし」考—西鶴作品にみる子ども忌避論』『日本の教育史学』64 教育史学会 2021 子を持つこと、子を育てることを忌避した生き方とその背景にある思想を、西鶴作品から読み解いた。 ・「基幹教育セミナー —対話と内省を通じた新たなキャリア教育—」(共著)『アクティブ・ラーナーを育む新時代を拓く基幹教育』九州大学基幹教育院他編 九州大学出版会 2020 九州大学の基幹教育の主要科目である基幹教育セミナーの実施状況と課題について論じた。 ・「一七世紀における遊女の教養形成と文字文化」『日本教育史学会紀要』10 日本教育史学会 2020 17 世紀の民衆に広がった読み書き能力が、遊女の教養形成にも大きな影響を与えたことを論じた。 ・「民衆が文字を書き読む近世社会の特質—文字社会の視点から—」『教育学研究』86 巻 4 号 日本教育学会 2019 社会に急速に識字能力が浸透した近世社会の特質を、文字社会の視点から明らかにした。 	
<p>教育業績*過去 3 年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学; 現代教育学入門・教育基礎学入門 (2018~2021) 現代の教育を理論的に分析し、問題認識の在り方、あるべき方向性を学生と検討した。 ・九州大学: 教育学特論 (2018~2021) 主に道德教育について、その歴史的過程を追い、現代の道德教育の実践を検証した。 ・九州大学; 基幹教育セミナー・課題協学 (2018~2021) 九州大学の初年次教育の一環である基幹教育セミナーと課題協学を担当し、アクティブ・ラーニングによる学生の学びをコーディネートした。 ・九州大学大学院; 教育社会史・学びの社会史 (2018~2022) 大学院の授業で、学級の歴史、身体による教育の歴史、教育メディアの歴史などを取り上げ検討した。 	
<p>実務業績*過去 3 年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学基幹教育院の教職科目班の班長 (2018~2022) を務める。 ・基幹教育セミナー実施班長 (2018~2021) を務め、アクティブ・ラーニングを全面的に取り入れた授業の責任者として運営にあたった。 ・自主夜間中学「福岡・よみかき教室」共同代表 (代表の期間を含めて 24 年) 	